

環境保全行動
自動車使用管理実施 報告提出書

2024 年 5 月 22 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所 氏 名 (代表者名)	〒 006-0001
	札幌市手稲区西宮の沢1条4丁目14番35号
	医療法人 札幌宮の沢病院
	理事長 田中 正巳

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第 1 3 条第 4 項 の規定により、環境保全行動
第 2 3 条第 3 項 自動車使用管理実施
報告書を提出します。

報 告 期 間		2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日								
事業 の 規 模	従業員数	258	人	原油換算した	380.1	k l				
	使用床面積	8348.306	m ²	燃料・熱・電気の合計量						
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数	8	台				
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	957	t-CO ₂	メタン	t-CO ₂	N ₂ O	t-CO ₂	HFC	t-CO ₂
		非エネルギー起源CO ₂		t-CO ₂	PFC	t-CO ₂	SF ₆	t-CO ₂	NF ₃	t-CO ₂
報告書の担当部署		担当部署名								
		担当者氏名								
		電話/FAX								
		電子メールアドレス								
計画書提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)				☒ 第 1 項 ☐ 第 3 項				
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)				☐ 第 1 項 ☒ 第 2 項				
計画期間		2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日								
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり								
備 考		計画書変更届提出(代表者変更)								

注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の 3 月 31 日現在で記入してください。

2 事業所数は、報告年度に係る年度の 3 月 31 日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。

4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第 4 条に規定する方法により行ってください。

5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第 2 条第 5 項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

6 ☐ のある欄には、該当する ☐ 内にレ印を記入してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】
2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日
【報告期間】
2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値	目標削減率	2022年度結果			2023年度結果			2024年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
二酸化炭素排出量の削減	1000	2	973	3	○	929	7	○			
	t	%	t	%		t	%				
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	30.7	2	24.1	21	○	28.4	7	○			
	t	%	t	%		t	%				
紙使用量の削減	1847.3	5	1969.8	▲ 7	×	1095.9	41	○			
	kg	%	kg	%		kg	%				
水使用量の削減(市水)	23667	5	22939	3	△	21980	7	○			
	m	%	m	%		m	%				
		%		%			%				
		%		%			%				

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。
2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。
○：目標削減率を達成
△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成
×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
二酸化炭素排出量の削減	○	節電機器を積極的に取り入れ始めた事が要因
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	○	基準年と比べ、除雪回数の減少となった為
紙使用量の削減	○	院内での電子化が進み、紙資料の使用量減
水使用量の削減(市水)	○	入浴装置の節水効果